

ノムラ THE ASIA Aコース (米ドル売り円買い) / Bコース (為替ヘッジなし)

運用報告書(全体版)

第2期 (決算日2016年4月27日)

作成対象期間 (2015年10月28日～2016年4月27日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	Aコース	Bコース
信託期間	追加型投信/海外/株式 2015年6月29日から2026年4月27日までです。	
運用方針	主として円建ての外国投資信託であるノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーアジア・エクイティークラスA/クラスB受益証券および円建ての国内籍の投資信託である野村マネー マザーファンド受益証券への投資を通じて、アジア諸国の株式 (DR (預託証券)、上場投資信託証券および償還金額等が株式の価格や株価指数に連動する効果を有するリンク債等を含みます。) を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。各受益証券への投資比率は、通常の状態においては、ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーアジア・エクイティークラスA/クラスB受益証券への投資を中心としますが、特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。	投資する外国投資信託において、組入外貨建て資産について原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	ノムラ THE ASIA Aコース/Bコース ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーアジア・エクイティークラスA/クラスB 野村マネー マザーファンド	ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーアジア・エクイティークラスA/クラスB受益証券および野村マネー マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。 アジア諸国・地域の企業の株式およびアジアにおいて主要な事業活動に従事しているアジア域外の企業の株式を主要投資対象とします。 本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	ノムラ THE ASIA Aコース/Bコース 野村マネー マザーファンド	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への直接投資は行いません。 株式への投資は行いません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等から、原則として基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	標準価額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 騰 落				
(設定日)	円		円		%		%	百万円
2015年6月29日	10,000		—		—		—	388
1期(2015年10月27日)	9,032		0	△9.7	0.0		98.9	422
2期(2016年4月27日)	8,528		0	△5.6	0.0		99.0	335

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	標準価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落	率				
(期首)	円		%		%		%
2015年10月27日	9,032		—	0.0	—		98.9
10月末	8,884	△	1.6	0.0	—		98.9
11月末	8,697	△	3.7	0.0	—		98.8
12月末	8,571	△	5.1	0.0	—		98.7
2016年1月末	7,799	△	13.7	0.0	—		98.9
2月末	7,784	△	13.8	0.0	—		99.0
3月末	8,434	△	6.6	0.0	—		99.1
(期末)							
2016年4月27日	8,528	△	5.6	0.0	—		99.0

*騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース>

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 騰 落 率				
(設定日)	円		円	%	%	%	%	百万円
2015年6月29日	10,000		—	—	—	—	—	3,891
1期(2015年10月27日)	8,946		0	△10.5	0.0	—	99.1	4,325
2期(2016年4月27日)	7,750		0	△13.4	0.0	—	99.0	3,126

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
		騰 落 率	率			
(期首)	円	%		%	%	%
2015年10月27日	8,946	—		0.0	—	99.1
10月末	8,785	△ 1.8		0.0	—	99.1
11月末	8,720	△ 2.5		0.0	—	99.0
12月末	8,463	△ 5.4		0.0	—	98.1
2016年1月末	7,574	△15.3		0.0	—	99.0
2月末	7,170	△19.9		0.0	—	99.1
3月末	7,740	△13.5		0.0	—	99.0
(期末)						
2016年4月27日	7,750	△13.4		0.0	—	99.0

*騰落率は期首比です。

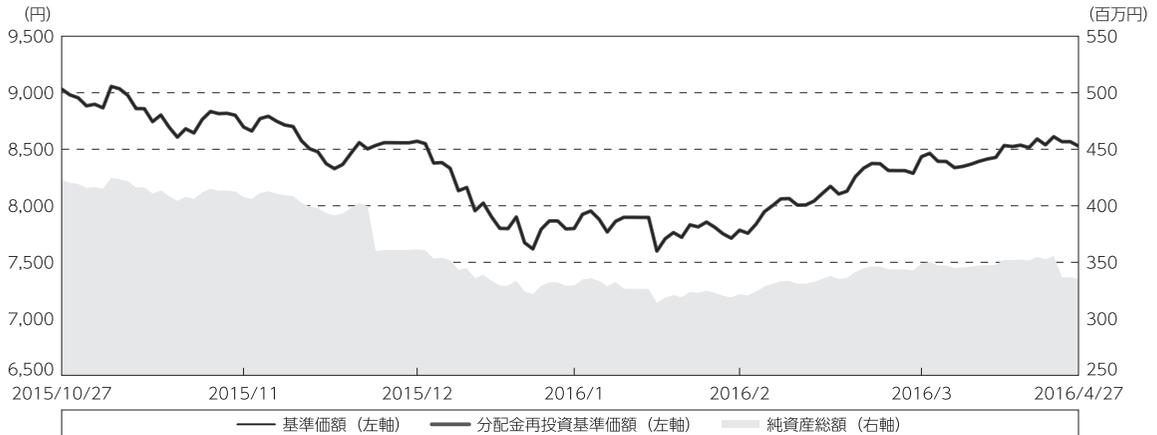
*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：9,032円

期末：8,528円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 5.6% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2015年10月27日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の9,032円から期末には8,528円となりました。

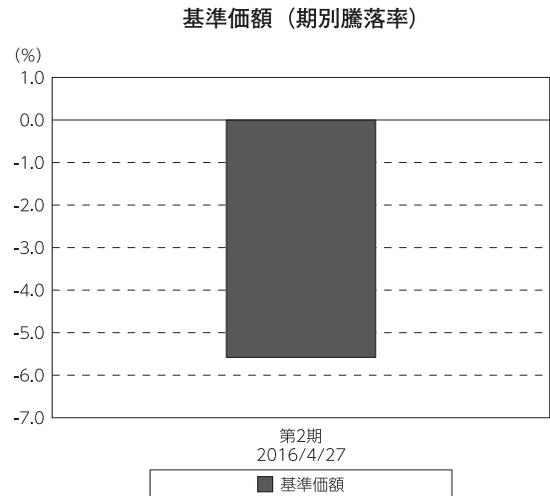
- ・ 実質的に投資しているアジア株式からのキャピタルゲイン (またはロス) (価格変動損益)
- ・ 実質的に投資しているアジア株式からのインカムゲイン
- ・ 円/米ドル為替取引によるコスト (金利差相当分の費用) またはプレミアム (金利差相当分の収益)
- ・ 米ドル/投資先通貨の為替変動

<Aコース>

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

収益分配については、基準価額水準等を勘案して見送らせていただきました。
留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第2期
	2015年10月28日～ 2016年4月27日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	—

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：8,946円

期末：7,750円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 13.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成年首(2015年10月27日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の8,946円から期末には7,750円となりました。

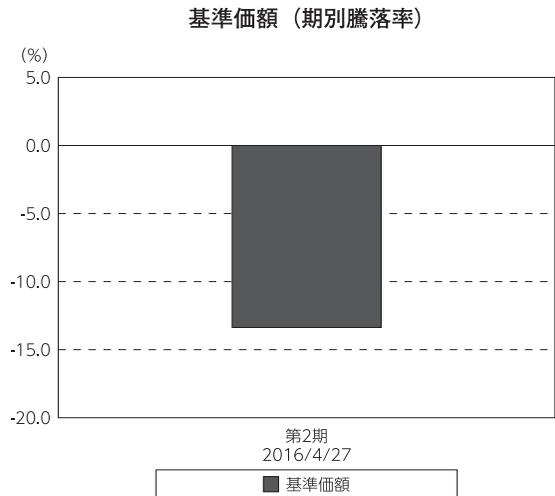
- ・ 実質的に投資しているアジア株式からのキャピタルゲイン (またはロス) (価格変動損益)
- ・ 実質的に投資しているアジア株式からのインカムゲイン
- ・ 円/投資先通貨の為替変動

<Bコース>

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

収益分配については、基準価額水準等を勘案して見送らせていただきました。
留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第2期
	2015年10月28日～ 2016年4月27日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	—

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Aコース/Bコース>

○投資環境

アジア（除く日本）市場は、中国経済の先行き不透明感が高まったことや、原油価格など商品価格が下落したことなどを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、'16年1月中旬にかけて軟調に推移しました。その後は、ドラギECB（欧州中央銀行）総裁が追加金融緩和を示唆したことに加え、中国人民銀行（中央銀行）が預金準備率を引き下げたことや、FRB（米連邦準備制度理事会）による利上げが緩やかなペースになるとの見方が強まったことなどから堅調に推移しましたが、当期間では値下がりとなりました。

○当ファンドのポートフォリオ

[ノムラ THE ASIA Aコース]

[ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－アジアン・エクイティークラスA] 受益証券および[野村マネー マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする[ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－アジアン・エクイティークラスA] 受益証券への投資比率は、概ね高位を維持しました。

[ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－アジアン・エクイティークラスA]

主要投資対象である[ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－アジアン・エクイティークラスA] のポートフォリオにおける株式等組入比率は、当期末現在で、95.4%となりました。同ポートフォリオにおける業種別配分は、当期末現在で、金融、一般消費財・サービス、情報技術などの比率が高めとなりました。国別配分では、中国、韓国、台湾などの比率が高めとなりました。業種別・国別配分の観点から分散されたポートフォリオの構築を行いました。組入外貨建資産については、原則として純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行いました。

[ノムラ THE ASIA Bコース]

[ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－アジアン・エクイティークラスB] 受益証券および[野村マネー マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする[ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－アジアン・エクイティークラスB] 受益証券への投資比率は、概ね高位を維持しました。

<Aコース/Bコース>

[ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－アジアン・エクイティークラスB]

主要投資対象である[ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－アジアン・エクイティークラスB]のポートフォリオにおける株式等組入比率は、当期末現在で、94.8%となりました。同ポートフォリオにおける業種別配分は、当期末現在で、金融、一般消費財・サービス、情報技術などの比率が高めとなりました。国別配分では、中国、韓国、台湾などの比率が高めとなりました。業種別・国別配分の観点から分散されたポートフォリオの構築を行いました。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんでした。

[野村マネー マザーファンド]

残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息収益の確保を図り、あわせてコール・ローン等で運用を行うことで流動性の確保を図りました。

◎今後の運用方針

[ノムラ THE ASIA Aコース]

[ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－アジアン・エクイティークラスA] 受益証券および[野村マネー マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする[ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－アジアン・エクイティークラスA] 受益証券への投資比率を高位で維持することを目指します。

[ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－アジアン・エクイティークラスA]

アジアの株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行います。ファンドでは、力強く業績成長を続け、バリュエーション（投資価値評価）の観点から割安な水準にある銘柄に着目し、運用を行います。

組入外貨建資産については、原則として純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行うことを基本とします。

[ノムラ THE ASIA Bコース]

[ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－アジアン・エクイティークラスB] 受益証券および[野村マネー マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする[ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－アジアン・エクイティークラスB] 受益証券への投資比率を高位で維持することを目指します。

<Aコース/Bコース>

[ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－アジアン・エクイティークラスB]

アジアの株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行います。ファンドでは、力強く業績成長を続け、バリュエーション（投資価値評価）の観点から割安な水準にある銘柄に着目し、運用を行います。

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

[野村マネー マザーファンド]

残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行い、あわせてコール・ローン等で運用を行うことで流動性の確保を図る方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

<Aコース>

○1万口当たりの費用明細

(2015年10月28日～2016年4月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 45	% 0.540	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(12)	(0.146)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(32)	(0.378)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	45	0.542	
期中の平均基準価額は、8,361円です。			

*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

*各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年10月28日～2016年4月27日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ-アジア・エクイティクラスA	口 552	千円 4,623	口 8,084	千円 68,423

*金額は受け渡し代金。

*金額の単位未満は切り捨て。

<Aコース>

○利害関係人との取引状況等

(2015年10月28日～2016年4月27日)

利害関係人との取引状況

<ノムラ THE ASIA Aコース>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	百万円	うち利害関係人 との取引状況B 百万円	$\frac{B}{A}$ %	百万円	うち利害関係人 との取引状況D 百万円	$\frac{D}{C}$ %
預金	117	117	100.0	117	117	100.0

<野村マネー マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	百万円	うち利害関係人 との取引状況B 百万円	$\frac{B}{A}$ %	百万円	うち利害関係人 との取引状況D 百万円	$\frac{D}{C}$ %
公社債	12,075	2,371	19.6	—	—	—
預金	231,734	231,734	100.0	231,734	231,734	100.0

平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社、野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2016年4月27日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
ノムラ・マルチ・マネー・ジャーズ・ファンドⅢ-アジア・エクイティークラスA	46,220	38,688	331,904	99.0
合 計	46,220	38,688	331,904	99.0

*比率は、純資産総額に対する投資信託受益証券評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村マネー マザーファンド	97	97	100

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

<Aコース>

○投資信託財産の構成

(2016年4月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	331,904	93.7
野村マネー マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	22,199	6.3
投資信託財産総額	354,203	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年4月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	354,203,368
コール・ローン等	5,328,943
投資信託受益証券(評価額)	331,904,352
野村マネー マザーファンド(評価額)	100,059
未収入金	16,870,014
(B) 負債	18,915,566
未払解約金	16,961,230
未払信託報酬	1,948,549
未払利息	10
その他未払費用	5,777
(C) 純資産総額(A-B)	335,287,802
元本	393,179,776
次期繰越損益金	△ 57,891,974
(D) 受益権総口数	393,179,776口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,528円

(注) 期首元本額は468,101,686円、期中追加設定元本額は5,185,662円、期中一部解約元本額は80,107,572円、1口当たり純資産額は0.8528円です。

○損益の状況 (2015年10月28日～2016年4月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,039
受取利息	1,152
支払利息	△ 113
(B) 有価証券売買損益	△17,642,383
売買益	3,917,251
売買損	△21,559,634
(C) 信託報酬等	△ 1,954,326
(D) 当期損益金(A+B+C)	△19,595,670
(E) 前期繰越損益金	△36,267,795
(F) 追加信託差損益金	△ 2,028,509
(配当等相当額)	(5)
(売買損益相当額)	(△ 2,028,514)
(G) 計(D+E+F)	△57,891,974
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△57,891,974
追加信託差損益金	△ 2,028,509
(配当等相当額)	(5)
(売買損益相当額)	(△ 2,028,514)
繰越損益金	△55,863,465

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<Aコース>

(注) 分配金の計算過程 (2015年10月28日～2016年4月27日) は以下の通りです。

項 目	当 期
	2015年10月28日～ 2016年4月27日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	5円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	5円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	0円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

<Bコース>

○1万口当たりの費用明細

(2015年10月28日～2016年4月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 44	% 0.540	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(12)	(0.146)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(31)	(0.378)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	44	0.542	
期中の平均基準価額は、8,075円です。			

*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

*各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年10月28日～2016年4月27日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ-アジア・エクイティクラスB	口 2,703	千円 22,746	口 83,743	千円 675,712

*金額は受け渡し代金。

*金額の単位未満は切り捨て。

<Bコース>

○利害関係人との取引状況等

(2015年10月28日～2016年4月27日)

利害関係人との取引状況

<ノムラ THE ASIA Bコース>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	百万円	うち利害関係人 との取引状況B 百万円	$\frac{B}{A}$ %	百万円	うち利害関係人 との取引状況D 百万円	$\frac{D}{C}$ %
預金	1,294	1,294	100.0	1,294	1,294	100.0

<野村マネー マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	百万円	うち利害関係人 との取引状況B 百万円	$\frac{B}{A}$ %	百万円	うち利害関係人 との取引状況D 百万円	$\frac{D}{C}$ %
公社債	12,075	2,371	19.6	—	—	—
預金	231,734	231,734	100.0	231,734	231,734	100.0

平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社、野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2016年4月27日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
	口	口	千円	%
ノムラ・マルチ・マネー・ジャーズ・ファンドⅢ-アジア・エクイティークラスB	478,195	397,155	3,095,028	99.0
合 計	478,195	397,155	3,095,028	99.0

*比率は、純資産総額に対する投資信託受益証券評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
野村マネー マザーファンド	979	979	1,000

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

<Bコース>

○投資信託財産の構成

(2016年4月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	3,095,028	97.7
野村マネー マザーファンド	1,000	0.0
コール・ローン等、その他	73,068	2.3
投資信託財産総額	3,169,096	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年4月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,169,096,072
コール・ローン等	60,434,433
投資信託受益証券(評価額)	3,095,028,915
野村マネー マザーファンド(評価額)	1,000,588
未収入金	12,632,136
(B) 負債	42,543,750
未払解約金	23,425,286
未払信託報酬	19,061,227
未払利息	114
その他未払費用	57,123
(C) 純資産総額(A-B)	3,126,552,322
元本	4,034,264,862
次期繰越損益金	△ 907,712,540
(D) 受益権総口数	4,034,264,862口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,750円

(注) 期首元本額は4,834,951,195円、期中追加設定元本額は11,358,216円、期中一部解約元本額は812,044,549円、1口当たり純資産額は0.7750円です。

○損益の状況 (2015年10月28日～2016年4月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	8,912
受取利息	9,876
支払利息	△ 964
(B) 有価証券売買損益	△462,523,209
売買益	66,859,452
売買損	△529,382,661
(C) 信託報酬等	△ 19,118,350
(D) 当期損益金(A+B+C)	△481,632,647
(E) 前期繰越損益金	△408,085,927
(F) 追加信託差損益金	△ 17,993,966
(配当等相当額)	(92)
(売買損益相当額)	(△ 17,994,058)
(G) 計(D+E+F)	△907,712,540
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△907,712,540
追加信託差損益金	△ 17,993,966
(配当等相当額)	(92)
(売買損益相当額)	(△ 17,994,058)
繰越損益金	△889,718,574

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<Bコース>

(注) 分配金の計算過程 (2015年10月28日～2016年4月27日) は以下の通りです。

項 目	当 期
	2015年10月28日～ 2016年4月27日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	92円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	92円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	0円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2016年4月27日現在)

<野村マネー マザーファンド>

下記は、野村マネー マザーファンド全体(21,889,367千口)の内容です。

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	%
地方債証券	1,238,780 (1,238,780)	1,243,212 (1,243,212)	5.6 (5.6)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	5.6 (5.6)
特殊債券 (除く金融債)	1,500,000 (1,500,000)	1,501,871 (1,501,871)	6.7 (6.7)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	6.7 (6.7)
金融債券	4,180,000 (4,180,000)	4,185,633 (4,185,633)	18.7 (18.7)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	18.7 (18.7)
普通社債券 (含む投資法人債券)	1,900,000 (1,900,000)	1,904,060 (1,904,060)	8.5 (8.5)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	8.5 (8.5)
合 計	8,818,780 (8,818,780)	8,834,778 (8,834,778)	39.5 (39.5)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	39.5 (39.5)

* ()内は非上場債で内書きです。

*組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
地方債証券	%	千円	千円	
東京都 公募第634回	1.86	201,000	201,535	2016/6/20
東京都 公募第636回	2.04	101,500	101,793	2016/6/20
北海道 公募平成18年度第7回	2.0	1,500	1,514	2016/10/31
北海道 公募(5年)平成23年度第2回	0.53	7,200	7,203	2016/5/31
北海道 公募(5年)平成23年度第12回	0.38	5,000	5,012	2017/1/31
神奈川県 公募(5年)第49回	0.37	101,700	101,826	2016/9/20
大阪府 公募第292回	2.1	100,000	100,508	2016/7/28
大阪府 公募第294回	2.0	12,000	12,094	2016/9/28
大阪府 公募第295回	1.9	1,000	1,008	2016/10/28
大阪府 公募(5年)第73回	0.51	102,000	102,041	2016/5/30
大阪府 公募(5年)第77回	0.42	100,000	100,177	2016/10/28
京都府 公募平成23年度第1回	0.49	7,000	7,004	2016/6/22
兵庫県 公募平成18年度第7回	2.1	80,000	80,401	2016/7/27
福岡県 公募平成18年度第3回	1.9	1,000	1,009	2016/10/31
千葉県 公募平成18年度第4回	1.8	8,600	8,672	2016/10/25
新潟県 公募平成18年度第1回	2.1	6,500	6,531	2016/7/27
群馬県 公募第3回	1.9	9,000	9,091	2016/11/25
大分県 公募平成18年度第1回	1.8	23,000	23,199	2016/10/31
共同発行市場地方債 公募第38回	2.0	5,000	5,007	2016/5/25
共同発行市場地方債 公募第39回	1.9	2,000	2,005	2016/6/24
共同発行市場地方債 公募第40回	2.1	8,000	8,038	2016/7/25
共同発行市場地方債 公募第41回	2.0	6,000	6,037	2016/8/25
共同発行市場地方債 公募第43回	1.8	4,000	4,033	2016/10/25
共同発行市場地方債 公募第44回	1.8	100,000	101,022	2016/11/25
島根県 公募平成23年度第1回	0.38	2,500	2,504	2016/11/25
熊本県 公募平成18年度第2回	1.8	7,500	7,563	2016/10/27
名古屋市 公募第455回	1.9	1,000	1,002	2016/6/20
名古屋市 公募第456回	1.82	16,000	16,108	2016/9/20
京都市 公募平成23年度第1回	0.493	90,000	90,103	2016/7/29
京都市 公募平成23年度第3回	0.364	4,000	4,004	2016/9/29
札幌市 公募(5年)平成23年度第5回	0.4	12,900	12,915	2016/9/20
川崎市 公募第28回	0.46	4,570	4,572	2016/6/20
川崎市 公募(5年)第29回	0.36	12,200	12,212	2016/9/20
川崎市 公募(5年)第31回	0.27	2,000	2,004	2017/3/17
北九州市 公募(5年)平成23年度第1回	0.36	7,000	7,008	2016/9/28
広島市 公募平成18年度第1回	1.82	6,000	6,069	2016/12/26
仙台市 公募平成23年度第1回	0.36	59,410	59,534	2017/1/27
さいたま市 公募第4回	1.8	5,000	5,057	2016/12/26
鹿児島県 公募平成18年度第1回	1.9	7,200	7,266	2016/10/31
鹿児島県 公募(5年)平成23年度第1回	0.37	8,500	8,512	2016/10/31
小計		1,238,780	1,243,212	
特殊債券(除く金融債)				
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第12回	2.0	300,000	300,545	2016/5/31
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第16回	2.0	100,000	100,492	2016/7/28
日本政策投資銀行社債 財投機関債第34回	0.243	200,000	200,060	2016/6/20
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第13回	1.96	100,000	100,275	2016/6/20
首都高速道路 第8回	0.439	140,000	140,196	2016/9/20

銘	柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
特殊債券(除く金融債)		%	千円	千円	
都市再生債券	財投機関債第75回	0.213	160,000	160,041	2016/6/20
関西国際空港社債	財投機関債第31回	0.504	70,000	70,116	2016/9/20
鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券	財投機関債第46回	0.255	430,000	430,142	2016/6/20
小	計		1,500,000	1,501,871	
金融債券					
商工債券	利付第732回い号	0.6	100,000	100,047	2016/5/27
商工債券	利付第733回い号	0.55	300,000	300,240	2016/6/27
商工債券	利付第734回い号	0.55	170,000	170,202	2016/7/27
商工債券	利付第736回い号	0.45	300,000	300,472	2016/9/27
商工債券	利付第737回い号	0.45	100,000	100,184	2016/10/27
農林債券	利付第732回い号	0.6	100,000	100,047	2016/5/27
農林債券	利付第733回い号	0.55	380,000	380,322	2016/6/27
農林債券	利付第734回い号	0.6	50,000	50,067	2016/7/27
農林債券	利付第735回い号	0.45	150,000	150,186	2016/8/26
農林債券	利付第736回い号	0.5	150,000	150,270	2016/9/27
農林債券	利付第737回い号	0.5	80,000	80,166	2016/10/27
農林債券	利付第739回い号	0.5	300,000	300,986	2016/12/27
農林債券	利付第742回い号	0.45	200,000	200,813	2017/3/27
しんきん中金債券	利付第258回	0.55	300,000	300,120	2016/5/27
しんきん中金債券	利付第259回	0.55	400,000	400,348	2016/6/27
しんきん中金債券	利付第261回	0.45	300,000	300,437	2016/8/26
しんきん中金債券	利付第262回	0.45	100,000	100,178	2016/9/27
しんきん中金債券	利付第263回	0.5	100,000	100,240	2016/10/27
商工債券	利付(3年)第160回	0.25	100,000	100,021	2016/5/27
商工債券	利付(3年)第161回	0.25	200,000	200,059	2016/6/27
商工債券	利付(3年)第164回	0.2	200,000	200,104	2016/9/27
商工債券	利付(3年)第166回	0.2	100,000	100,113	2016/11/25
小	計		4,180,000	4,185,633	
普通社債券(含む投資法人債券)					
みずほコーポレート銀行	第26回特定社債間限定同順位特約付	0.54	600,000	600,670	2016/7/20
みずほコーポレート銀行	第27回特定社債間限定同順位特約付	0.515	400,000	400,944	2016/10/20
三菱東京UFJ銀行	第126回特定社債間限定同順位特約付	0.545	100,000	100,106	2016/7/14
三菱東京UFJ銀行	第129回特定社債間限定同順位特約付	0.465	100,000	100,209	2016/10/20
三菱東京UFJ銀行	第145回特定社債間限定同順位特約付	0.22	100,000	100,048	2016/7/22
三菱UFJリース	第15回社債間限定同順位特約付	0.66	400,000	401,413	2016/12/14
東京急行電鉄	第67回社債間限定同順位特約付	1.55	100,000	100,379	2016/7/29
東邦瓦斯	第30回社債間限定同順位特約付	2.07	100,000	100,289	2016/6/20
小	計		1,900,000	1,904,060	
合	計		8,818,780	8,834,778	

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 1,599,751	% 7.2

*比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

野村マネー マザーファンド

運用報告書

第13期（決算日2015年8月19日）

作成対象期間（2014年8月20日～2015年8月19日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦通貨表示の公社債等に投資を行い、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行います。
主な投資対象	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行いません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券率	債先物比率	債券率	純資産額
		期騰	落中率					
9期(2011年8月19日)	円 10,170		% 0.1	% 91.3		% -		百万円 5,916
10期(2012年8月20日)	10,181		0.1	100.7		-		2,216
11期(2013年8月19日)	10,191		0.1	80.9		-		5,297
12期(2014年8月19日)	10,199		0.1	59.7		-		8,648
13期(2015年8月19日)	10,206		0.1	44.7		-		22,034

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

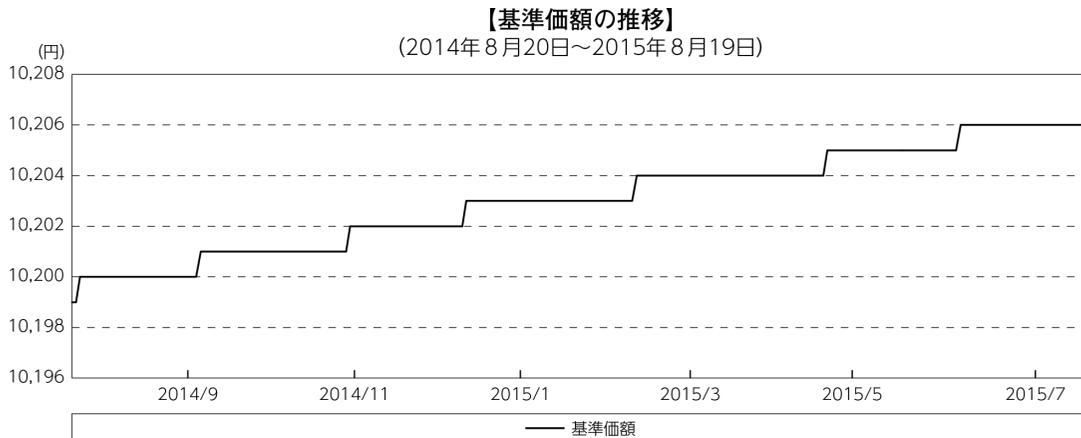
年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券率	債先物比率	債券率
		騰	落率				
(期首) 2014年8月19日	円 10,199		% -		% 59.7		% -
8月末	10,200		0.0		70.0		-
9月末	10,200		0.0		62.3		-
10月末	10,201		0.0		52.6		-
11月末	10,202		0.0		52.6		-
12月末	10,202		0.0		54.3		-
2015年1月末	10,203		0.0		90.0		-
2月末	10,203		0.0		59.5		-
3月末	10,204		0.0		52.3		-
4月末	10,204		0.0		62.6		-
5月末	10,205		0.1		59.8		-
6月末	10,205		0.1		41.2		-
7月末	10,206		0.1		46.2		-
(期末) 2015年8月19日	10,206		0.1		44.7		-

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の変動要因

* 基準価額は0.07%の上昇

基準価額は、期首10,199円から期末は10,206円となりました。

投資している短期有価証券等からのインカムゲイン（利息収入）。

○投資環境

国内経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善する中で緩やかな回復を続けてきましたが、4-6月期は個人消費や輸出といった内外需が落ち込み、景気回復が小休止状態にあることを示しました。

このような中、日本銀行は、前年比2%の物価上昇を目指す「量的・質的金融緩和」を継続し、2014年10月の金融政策決定会合では、資産買入れ額の拡大および長期国債買入れの平均残存年限の長期化を図るなど金融緩和を強化しました。

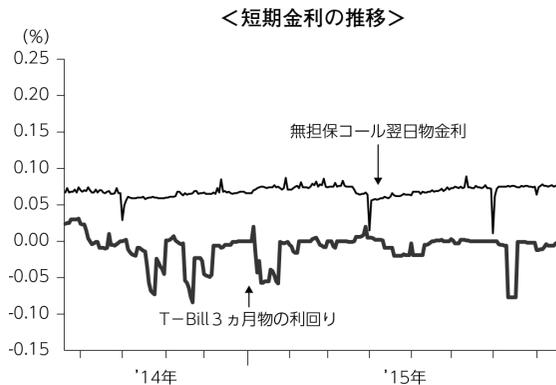
・無担保コール翌日物金利の推移

期を通じて概ね0.06%台から0.07%台で推移しました。

・T-Bill（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りの推移

2014年9月以降、国内投資家の恒常的な国債需要に加え、日本銀行による買入や海外からの資金流入などによる需給ひっ迫から利回りは低下し、マイナスとなりました。

その後、一時的な需給の緩みにより利回りがプラス圏に戻る局面もありましたが、期末にかけて概ねマイナス圏で推移しました。



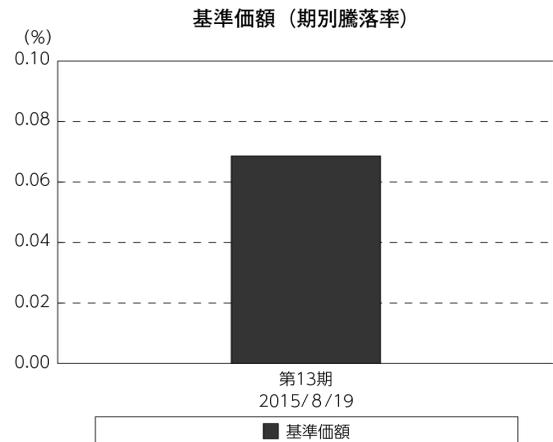
○当ファンドのポートフォリオ

今期の運用につきましては、残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー（CP）等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローン等で運用を行うことで流動性の確保を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎今後の運用方針

今後も、残存期間の短い公社債やCP等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図る運用を行なう方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年8月20日～2015年8月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.002 (0.002)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	0	0.002	
期中の平均基準価額は、10,202円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2014年8月20日～2015年8月19日)

公 社 債

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国	国債証券	57,121,186	33,710,730 (24,409,350)
	地方債証券	3,262,292	— (1,970,000)
内	特殊債券	10,876,852	— (7,504,000)
	社債券（投資法人債券を含む）	3,312,770	— (2,240,000)

*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

*単位未満は切り捨て。

*（ ）内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

そ の 他 有 価 証 券

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国 内	コマーシャル・ペーパー	7,297,610	— (5,300,000)

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

*（ ）内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

(2014年8月20日～2015年8月19日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
公社債	百万円 40,912	百万円 5,799	% 14.2	百万円 50	百万円 -	% -

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○組入資産の明細

(2015年8月19日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	1,180,000 (1,130,000)	1,180,008 (1,129,999)	5.4 (5.1)	- (-)	- (-)	- (-)	5.4 (5.1)
地方債証券	1,281,600 (1,281,600)	1,287,899 (1,287,899)	5.8 (5.8)	- (-)	- (-)	- (-)	5.8 (5.8)
特殊債券 (除く金融債)	4,686,000 (4,686,000)	4,703,401 (4,703,401)	21.3 (21.3)	- (-)	- (-)	- (-)	21.3 (21.3)
金融債券	1,470,000 (1,470,000)	1,473,440 (1,473,440)	6.7 (6.7)	- (-)	- (-)	- (-)	6.7 (6.7)
普通社債券 (含む投資法人債券)	1,200,000 (1,200,000)	1,207,103 (1,207,103)	5.5 (5.5)	- (-)	- (-)	- (-)	5.5 (5.5)
合 計	9,817,600 (9,767,600)	9,851,853 (9,801,844)	44.7 (44.5)	- (-)	- (-)	- (-)	44.7 (44.5)

* () 内は非上場債で内書きです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* -印は組み入れなし。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

* 残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	柄	当期末			
		利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券		%	千円	千円	
国庫短期証券	第541回	—	500,000	499,999	2015/9/28
国庫短期証券	第542回	—	200,000	199,999	2015/10/5
国庫短期証券	第546回	—	100,000	99,999	2015/10/19
国庫短期証券	第547回	—	300,000	299,999	2015/10/26
国庫短期証券	第548回	—	30,000	29,999	2015/11/2
国庫債券	利付(2年)第333回	0.1	50,000	50,009	2015/10/15
小	計		1,180,000	1,180,008	
地方債証券					
東京都	公募第625回	1.41	200,000	200,218	2015/9/18
北海道	公募平成17年度第6回	1.4	105,100	105,142	2015/8/31
北海道	公募平成17年度第12回	1.6	50,000	50,365	2016/2/24
神奈川県	公募第136回	1.5	90,000	90,421	2015/12/28
大阪府	公募第284回	1.6	300,000	301,207	2015/11/27
兵庫県	公募平成18年度第7回	2.1	80,000	81,503	2016/7/27
新潟県	公募平成18年度第1回	2.1	6,500	6,617	2016/7/27
共同発行市場地方債	公募第31回	1.5	50,000	50,123	2015/10/23
共同発行市場地方債	公募第32回	1.6	100,000	100,391	2015/11/25
共同発行市場地方債	公募第34回	1.4	200,000	201,130	2016/1/25
共同発行市場地方債	公募第35回	1.6	100,000	100,778	2016/2/25
小	計		1,281,600	1,287,899	
特殊債券(除く金融債)					
日本高速道路保有・債務返済機構承継	政府保証第346回	1.4	300,000	300,095	2015/8/26
日本高速道路保有・債務返済機構承継	政府保証第347回	1.3	352,000	352,411	2015/9/22
首都高速道路債券	政府保証第199回	1.4	50,000	50,018	2015/8/28
阪神高速道路債券	政府保証第148回	1.3	20,000	20,028	2015/9/30
本州四国連絡橋債券	政府保証第27回	1.4	300,000	300,141	2015/8/31
公営企業債券	政府保証第861回	1.6	29,000	29,256	2016/3/17
公営企業債券	政府保証第862回	1.8	117,000	118,337	2016/4/20
日本高速道路保有・債務返済機構承継	政府保証債第1回	1.5	100,000	100,499	2015/12/25
日本高速道路保有・債務返済機構債券	政府保証債第3回	1.5	590,000	593,701	2016/1/29
日本高速道路保有・債務返済機構債券	政府保証債第5回	1.6	558,000	562,454	2016/2/26
日本高速道路保有・債務返済機構債券	政府保証債第11回	1.8	170,000	171,994	2016/4/26
首都高速道路債券	政府保証第1回	1.6	400,000	403,726	2016/3/28
中部国際空港債券	政府保証第17回	0.051	300,000	300,000	2016/3/7
日本高速道路保有・債務返済機構債券	財投機関債第119回	0.067	200,000	199,993	2015/12/18
地方公共団体金融機構債券	2年第1回	0.135	200,000	200,056	2016/2/26
首都高速道路社債	第6回	0.315	100,000	100,024	2015/9/24
阪神高速道路社債	財投機関債第6回	0.589	100,000	100,166	2015/12/18
中日本高速道路債券	財投機関債第20回	0.417	100,000	100,025	2015/9/18
中日本高速道路社債	財投機関債第37回	0.385	200,000	200,314	2016/2/26
西日本高速道路	第16回	0.246	200,000	200,038	2015/9/18
西日本高速道路	第17回	0.196	300,000	300,113	2015/12/18
小	計		4,686,000	4,703,401	
金融債券					
商工債券	利付第724回い号	0.5	320,000	320,138	2015/9/25
商工債券	利付第733回い号	0.55	300,000	301,185	2016/6/27

銘	柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
金融債券		%	千円	千円	
商工債券	利付第734回い号	0.55	150,000	150,655	2016/7/27
農林債券	利付第723回い号	0.55	150,000	150,020	2015/8/27
農林債券	利付第724回い号	0.5	50,000	50,021	2015/9/25
農林債券	利付第733回い号	0.55	100,000	100,392	2016/6/27
商工債券	利付(3年)第152回	0.2	100,000	100,013	2015/9/25
商工債券	利付(3年)第153回	0.2	100,000	100,026	2015/10/27
商工債券	利付(3年)第161回	0.25	100,000	100,144	2016/6/27
商工債券	利付(10年)第2回	1.78	100,000	100,841	2016/2/19
小	計		1,470,000	1,473,440	
普通社債券(含む投資法人債券)					
みずほコーポレート銀行	第24回特定社債間限定同順位特約付	0.595	200,000	200,415	2016/1/20
みずほコーポレート銀行	第25回特定社債間限定同順位特約付	0.755	100,000	100,429	2016/4/20
トヨタファイナンス	第19回社債間限定同等特約付	2.04	200,000	202,217	2016/3/18
三菱UFJリース	第13回社債間限定同順位特約付	0.796	500,000	502,336	2016/4/22
三菱UFJリース	第22回社債間限定同順位特約付	0.235	100,000	100,066	2016/2/26
東邦瓦斯	第30回社債間限定同順位特約付	2.07	100,000	101,639	2016/6/20
小	計		1,200,000	1,207,103	
合	計		9,817,600	9,851,853	

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 2,499,141	% 11.3

* 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2015年8月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 9,851,853	% 44.3
その他有価証券	2,499,141	11.2
コール・ローン等、その他	9,864,830	44.5
投資信託財産総額	22,215,824	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年8月19日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	22,215,824,811
コール・ローン等	847,502,284
公社債(評価額)	9,851,853,649
其他有価証券	2,499,141,851
未収利息	15,014,658
前払費用	12,080,826
差入保証金	8,990,231,543
(B) 負債	181,800,841
未払金	181,483,841
未払解約金	317,000
(C) 純資産総額(A-B)	22,034,023,970
元本	21,588,342,274
次期繰越損益金	445,681,696
(D) 受益権総口数	21,588,342,274口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,206円

(注) 期首元本額8,478百万円、期中追加設定元本額20,130百万円、期中一部解約元本額7,020百万円、計算口数当たり純資産額10,206円。

○損益の状況 (2014年8月20日～2015年8月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	61,355,124
受取利息	58,968,909
其他収益金	2,386,215
(B) 有価証券売買損益	△ 49,857,397
売買益	19,664
売買損	△ 49,877,061
(C) 保管費用等	△ 261,886
(D) 当期損益金(A+B+C)	11,235,841
(E) 前期繰越損益金	169,135,352
(F) 追加信託差損益金	408,020,917
(G) 解約差損益金	△142,710,414
(H) 計(D+E+F+G)	445,681,696
次期繰越損益金(H)	445,681,696

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

ファンド名	当期末 元本額
	百万円
バンクローンファンド (為替ヘッジあり) 2014-09	98
バンクローンファンド (為替ヘッジあり) 2015-06	146
野村アフリカ株投資 マネーボール・ファンド	20
野村米国ハイ・イールド債券投信 (マネーボールファンド) 年2回決算型	90
野村新中國株投資 マネーボール・ファンド	78
野村日本ブランド株投資 (マネーボールファンド) 年2回決算型	745
野村新米国ハイ・イールド債券投信 (マネーボールファンド) 年2回決算型	9
野村ビクテ・ジェネリック&ゲノム マネーボール・ファンド	1
野村RCM・グリーン・テックロジック マネーボール・ファンド	1
野村新興国消費関連株投信 マネーボール・ファンド	5
野村世界業種別投資シリーズ (マネーボール・ファンド)	12
ノムラ・アジア・シリーズ (マネーボール・ファンド)	2,033
野村新エマージング債券投信 (マネーボールファンド) 年2回決算型	5
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信 (マネーボールファンド) 年2回決算型	8
野村グローバルCB投信 (マネーボールファンド) 年2回決算型	6
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信 (マネーボールファンド) 年2回決算型	133
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信 (マネーボールファンド) 年2回決算型	0
野村日本スマートシティ株投資 マネーボールファンド	1
野村世界高金利通貨投信	151
野村新世界高金利通貨投信	0
コインの未来 (毎月分配型)	3
コインの未来 (年2回分配型)	0
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド (欧州通貨コース)	0
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド (円コース)	0
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド (豪ドルコース)	0
野村米国ハイ・イールド債券投信 (円コース) 毎月分配型	0
野村米国ハイ・イールド債券投信 (米ドルコース) 毎月分配型	0
野村米国ハイ・イールド債券投信 (ユーロコース) 毎月分配型	0
野村米国ハイ・イールド債券投信 (豪ドルコース) 毎月分配型	0
野村米国ハイ・イールド債券投信 (ブラジリアルコース) 毎月分配型	0
野村米国ハイ・イールド債券投信 (南アフリカランドコース) 毎月分配型	0
野村米国ハイ・イールド債券投信 (トルコリラコース) 毎月分配型	0
野村米国ハイ・イールド債券投信 (円コース) 年2回決算型	0
野村米国ハイ・イールド債券投信 (米ドルコース) 年2回決算型	0
野村米国ハイ・イールド債券投信 (ユーロコース) 年2回決算型	0
野村米国ハイ・イールド債券投信 (豪ドルコース) 年2回決算型	0
野村米国ハイ・イールド債券投信 (ブラジリアルコース) 年2回決算型	0
野村米国ハイ・イールド債券投信 (南アフリカランドコース) 年2回決算型	0
野村米国ハイ・イールド債券投信 (トルコリラコース) 年2回決算型	0
野村日本ブランド株投資 (円コース) 毎月分配型	0
野村日本ブランド株投資 (豪ドルコース) 毎月分配型	0
野村日本ブランド株投資 (ブラジリアルコース) 毎月分配型	0
野村日本ブランド株投資 (南アフリカランドコース) 毎月分配型	0
野村日本ブランド株投資 (トルコリラコース) 毎月分配型	0
野村日本ブランド株投資 (円コース) 年2回決算型	0
野村日本ブランド株投資 (豪ドルコース) 年2回決算型	0
野村日本ブランド株投資 (ブラジリアルコース) 年2回決算型	0
野村日本ブランド株投資 (南アフリカランドコース) 年2回決算型	0
野村日本ブランド株投資 (トルコリラコース) 年2回決算型	0
野村新米国ハイ・イールド債券投信 (円コース) 毎月分配型	0
野村新米国ハイ・イールド債券投信 (豪ドルコース) 毎月分配型	0
野村新米国ハイ・イールド債券投信 (ブラジリアルコース) 毎月分配型	0
野村新米国ハイ・イールド債券投信 (南アフリカランドコース) 毎月分配型	0
野村新米国ハイ・イールド債券投信 (トルコリラコース) 毎月分配型	0
野村新米国ハイ・イールド債券投信 (円コース) 年2回決算型	0
野村新米国ハイ・イールド債券投信 (豪ドルコース) 年2回決算型	0
野村新米国ハイ・イールド債券投信 (ブラジリアルコース) 年2回決算型	0
野村新米国ハイ・イールド債券投信 (南アフリカランドコース) 年2回決算型	0
野村新米国ハイ・イールド債券投信 (トルコリラコース) 年2回決算型	0
野村PIMCO・グローバル・アドバンテージ債券投信 Aコース	0

ファンド名	当期末 元本額
	百万円
野村PIMCO・グローバル・アドバンテージ債券投信 Bコース	0
野村新エマージング債券投信 (円コース) 毎月分配型	0
野村新エマージング債券投信 (米ドルコース) 毎月分配型	0
野村新エマージング債券投信 (豪ドルコース) 毎月分配型	0
野村新エマージング債券投信 (ブラジリアルコース) 毎月分配型	0
野村新エマージング債券投信 (南アフリカランドコース) 毎月分配型	0
野村新エマージング債券投信 (中国元コース) 毎月分配型	0
野村新エマージング債券投信 (インドネシアルピアコース) 毎月分配型	0
野村新エマージング債券投信 (円コース) 年2回決算型	0
野村新エマージング債券投信 (米ドルコース) 年2回決算型	0
野村新エマージング債券投信 (豪ドルコース) 年2回決算型	0
野村新エマージング債券投信 (ブラジリアルコース) 年2回決算型	0
野村新エマージング債券投信 (南アフリカランドコース) 年2回決算型	0
野村新エマージング債券投信 (中国元コース) 年2回決算型	0
野村新エマージング債券投信 (インドネシアルピアコース) 年2回決算型	0
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信 (円コース) 毎月分配型	0
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信 (資源国通貨コース) 毎月分配型	0
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信 (アジア通貨コース) 毎月分配型	0
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信 (円コース) 年2回決算型	0
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信 (資源国通貨コース) 年2回決算型	0
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信 (アジア通貨コース) 年2回決算型	0
野村新エマージング債券投信 (円コース) 毎月分配型	0
野村新エマージング債券投信 (資源国通貨コース) 毎月分配型	0
野村新エマージング債券投信 (アジア通貨コース) 毎月分配型	0
野村新エマージング債券投信 (円コース) 年2回決算型	0
野村新エマージング債券投信 (資源国通貨コース) 年2回決算型	0
野村新エマージング債券投信 (アジア通貨コース) 年2回決算型	0
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信 (円コース) 毎月分配型	0
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信 (米ドルコース) 毎月分配型	0
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信 (豪ドルコース) 毎月分配型	0
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信 (ブラジリアルコース) 毎月分配型	0
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信 (円コース) 年2回決算型	0
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信 (米ドルコース) 年2回決算型	0
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信 (豪ドルコース) 年2回決算型	0
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信 (ブラジリアルコース) 年2回決算型	0
野村日本ブランド株投資 (資源国通貨コース) 毎月分配型	0
野村日本ブランド株投資 (アジア通貨コース) 毎月分配型	0
野村日本ブランド株投資 (資源国通貨コース) 年2回決算型	0
野村日本ブランド株投資 (アジア通貨コース) 年2回決算型	0
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信 (円コース) 毎月分配型	0
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信 (資源国通貨コース) 毎月分配型	0
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信 (アジア通貨コース) 毎月分配型	0
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信 (円コース) 年2回決算型	0
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信 (資源国通貨コース) 年2回決算型	0
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信 (アジア通貨コース) 年2回決算型	0
野村米国ブランド株投資 (円コース) 毎月分配型	0
野村米国ブランド株投資 (資源国通貨コース) 毎月分配型	0
野村米国ブランド株投資 (アジア通貨コース) 毎月分配型	0
野村米国ブランド株投資 (円コース) 年2回決算型	0
野村米国ブランド株投資 (資源国通貨コース) 年2回決算型	0
野村米国ブランド株投資 (アジア通貨コース) 年2回決算型	0
ノムラ・グローバルトレンド (円コース) 毎月分配型	0
ノムラ・グローバルトレンド (資源国通貨コース) 毎月分配型	0
ノムラ・グローバルトレンド (アジア通貨コース) 毎月分配型	0
ノムラ・グローバルトレンド (円コース) 年2回決算型	0
ノムラ・グローバルトレンド (資源国通貨コース) 年2回決算型	0
ノムラ・グローバルトレンド (アジア通貨コース) 年2回決算型	0

ファンド名	当期末
	元本額
	百万円
野村テンプルトン・トータル・リターン Aコース	0
野村テンプルトン・トータル・リターン Bコース	0
野村テンプルトン・トータル・リターン Cコース	0
野村テンプルトン・トータル・リターン Dコース	0
野村高金利国際機関債投信(年2回決算型)	0
野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース)毎月分配型	0
野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース)年2回決算型	0
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(通貨セレクトコース)毎月分配型	0
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(通貨セレクトコース)年2回決算型	0
野村グローバル高配当株プレミアム(円コース)毎月分配型	0
野村グローバル高配当株プレミアム(円コース)年2回決算型	0
野村グローバル高配当株プレミアム(通貨セレクトコース)年2回決算型	0
ノムラ・アジア・コレクション(短期アジア現地通貨建て債券 Aコース)	0
ノムラ・アジア・コレクション(短期アジア現地通貨建て債券 Bコース)	0
野村アジアハイ・イールド債券投信(円コース)毎月分配型	0
野村アジアハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース)毎月分配型	0
野村アジアハイ・イールド債券投信(アジア通貨セレクトコース)毎月分配型	0
野村アジアハイ・イールド債券投信(円コース)年2回決算型	0
野村アジアハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース)年2回決算型	0
野村アジアハイ・イールド債券投信(アジア通貨セレクトコース)年2回決算型	0
野村豪ドル債オープン・プレミアム毎月分配型	0
野村豪ドル債オープン・プレミアム年2回決算型	0
野村グローバルREITプレミアム(円コース)毎月分配型	0
野村グローバルREITプレミアム(通貨セレクトコース)毎月分配型	0
野村グローバルREITプレミアム(円コース)年2回決算型	0
野村グローバルREITプレミアム(通貨セレクトコース)年2回決算型	0
野村日本高配当株プレミアム(円コース)毎月分配型	0
野村日本高配当株プレミアム(通貨セレクトコース)毎月分配型	0
野村日本高配当株プレミアム(円コース)年2回決算型	0
野村日本高配当株プレミアム(通貨セレクトコース)年2回決算型	0
野村高配当インフラ関連株プレミアム(円コース)毎月分配型	0
野村高配当インフラ関連株プレミアム(円コース)年2回決算型	0
野村高配当インフラ関連株プレミアム(通貨セレクトコース)毎月分配型	0
野村高配当インフラ関連株プレミアム(円コース)年2回決算型	0
野村高配当インフラ関連株プレミアム(通貨セレクトコース)年2回決算型	0
野村カルミニャック・ファンド Aコース	0
野村カルミニャック・ファンド Bコース	0
野村通貨選択日本株投信(米ドルコース)毎月分配型	0
野村通貨選択日本株投信(ユーロコース)毎月分配型	0
野村通貨選択日本株投信(豪ドルコース)毎月分配型	0
野村通貨選択日本株投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型	0
野村通貨選択日本株投信(トルコリラコース)毎月分配型	0
野村通貨選択日本株投信(メキシコペソコース)毎月分配型	0
野村通貨選択日本株投信(中国元コース)毎月分配型	0
野村通貨選択日本株投信(インドネシアルピアコース)毎月分配型	0
野村通貨選択日本株投信(インドルピーコース)毎月分配型	0
野村通貨選択日本株投信(ロシアルーブルコース)毎月分配型	0
野村通貨選択日本株投信(米ドルコース)年2回決算型	0
野村通貨選択日本株投信(ユーロコース)年2回決算型	0
野村通貨選択日本株投信(豪ドルコース)年2回決算型	0
野村通貨選択日本株投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型	0
野村通貨選択日本株投信(トルコリラコース)年2回決算型	0
野村通貨選択日本株投信(メキシコペソコース)年2回決算型	0
野村通貨選択日本株投信(中国元コース)年2回決算型	0
野村通貨選択日本株投信(インドネシアルピアコース)年2回決算型	0
野村通貨選択日本株投信(インドルピーコース)年2回決算型	0
野村通貨選択日本株投信(ロシアルーブルコース)年2回決算型	0
野村エマージング債券プレミアム毎月分配型	0
野村エマージング債券プレミアム年2回決算型	0
ノムラ THE USA Aコース	0
ノムラ THE USA Bコース	0
ノムラ THE EUROPE Aコース	0
ノムラ THE EUROPE Bコース	0

ファンド名	当期末
	元本額
	百万円
米国変動好金利ファンド Aコース	8
米国変動好金利ファンド Bコース	0
野村日本ブランド株投資(米ドルコース)毎月分配型	0
野村日本ブランド株投資(メキシコペソコース)毎月分配型	0
野村日本ブランド株投資(米ドルコース)年2回決算型	0
野村日本ブランド株投資(メキシコペソコース)年2回決算型	0
野村アジアハイ・イールド債券投信(米ドルコース)毎月分配型	0
野村アジアハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)年2回決算型	0
野村米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)毎月分配型	0
野村米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)年2回決算型	0
野村米国ブランド株投資(米ドルコース)毎月分配型	0
野村米国ブランド株投資(米ドルコース)年2回決算型	0
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(米ドルコース)毎月分配型	0
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(米ドルコース)年2回決算型	0
野村グローバルボンド投信 Aコース	0
野村グローバルボンド投信 Bコース	0
野村グローバルボンド投信 Cコース	0
野村グローバルボンド投信 Dコース	0
野村グローバルボンド投信 Eコース	0
野村グローバルボンド投信 Fコース	0
野村新米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース)毎月分配型	0
野村新米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)毎月分配型	0
野村新米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース)年2回決算型	0
野村新米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)年2回決算型	0
野村高配当インフラ関連株ファンド(円コース)毎月分配型	0
野村高配当インフラ関連株ファンド(米ドルコース)毎月分配型	0
野村高配当インフラ関連株ファンド(通貨セレクトコース)毎月分配型	0
野村高配当インフラ関連株ファンド(円コース)年2回決算型	0
野村高配当インフラ関連株ファンド(米ドルコース)年2回決算型	0
野村高配当インフラ関連株ファンド(通貨セレクトコース)年2回決算型	0
野村新興国高配当株トリアルウィング ブラジルリアル毎月分配型	0
ピムコ・世界インカム戦略ファンド(円コース)	0
ピムコ・世界インカム戦略ファンド(米ドルコース)	0
ピムコ・世界インカム戦略ファンド(世界通貨分散コース)	0
ノムラ新興国債券ファンズ(野村SMA・EW向け)	0
野村ブルーベイ・トータルリターンファンド(野村SMA・EW向け)	0
ノムラ THE ASIA Aコース	0
ノムラ THE ASIA Bコース	0
第1回 野村短期公社債ファンド	0
第2回 野村短期公社債ファンド	0
第3回 野村短期公社債ファンド	0
第4回 野村短期公社債ファンド	0
第5回 野村短期公社債ファンド	0
第6回 野村短期公社債ファンド	0
第7回 野村短期公社債ファンド	0
第8回 野村短期公社債ファンド	0
第9回 野村短期公社債ファンド	0
第10回 野村短期公社債ファンド	0
第11回 野村短期公社債ファンド	0
第12回 野村短期公社債ファンド	0
ノムラスマートプレミアムファンドハイブリッド30(非課税適格機関投資家専用)	5,276
ノムラスマートプレミアムファンドハイブリッド50(適格機関投資家転売制限付)	3,422
野村日経225ターゲット(公社債運用移行型)2プライス(適格機関投資家専用)	2,296
野村日経225ターゲット(公社債運用移行型)Dプライス(適格機関投資家専用)	4,635
日本株インカムプラスα(公社債運用移行型)1305(適格機関投資家転売制限付)	1,186
日本株インカムプラスα(公社債運用移行型)1308(適格機関投資家転売制限付)	1,019
野村DCテンプルトン・トータル・リターン Aコース	0
野村DCテンプルトン・トータル・リターン Bコース	0

*単位未満は切り捨て。

○お知らせ

- ①デリバティブ取引等に係る投資制限に関する所要の約款変更を行いました。
＜変更適用日：2014年12月4日＞
- ②信用リスク集中回避のための投資制限に関する所要の約款変更を行いました。
＜変更適用日：2015年2月23日＞

<お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。

(2016年4月27日現在)

年 月	日
2016年4月	－
5月	2、16
6月	9、13、23
7月	1、6
8月	9、15
9月	12、16
10月	－
11月	1
12月	26、27

※ 2016年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。